

平成22年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[著作権法]

建築家甲は、斬新で奇抜なデザインの住宅Aを設計し、設計図Bを作成した。これを前提に以下の問いに答えよ。

- (1) 住宅Aの竣工前に、甲の事務所を訪れた建築家乙は、設計図Bに目をとめ、甲が席を外した際にデジタルカメラでこれを撮影した。乙は、この写真をもとに、設計図Bとは異なる作図法で設計図Cを作成し、住宅Aの竣工前に、住宅Aとそっくりの住宅Dを建築した。なお、住宅Dの所有者は、乙ではなく、乙に設計を依頼した施主である。甲は、乙のいかなる行為について、著作権法上いかなる請求をなしうるか。
- (2) 住宅Aに強盗が入り、人質をとって立てこもるという事件が発生した。テレビ局丙は、ニュース番組でこの事件を報道する際、現場からの中継を行い、住宅Aの外観をクローズアップした映像を放送した。甲は、丙に対して、著作権法上いかなる請求をなしうるか。
- (3) 住宅A及びその敷地の所有者丁は、その敷地にマンションを建てるため、住宅Aを取り壊し、更地にした。甲は丁に対して、著作権法上いかなる請求をなしうるか。

【100点】